随想

郷土玩具

白石正夫

郷土玩具は実に不思議な魅力をもっていて私も大好きである。

素朴で、間がぬけていて、そのうえひょうきんなところもあり、昔からの名人によって作り伝えられている博多人形などには比べられない、お粗末なところがあるが、身近かで親しみがあり何ともいえない味わいをもっている。現代っ子には見むきもされない古びたオモチャのような存在にありながら、精巧で近代的な科学玩具には見られない、ある心の通いのようなものが感じられて嬉しい。

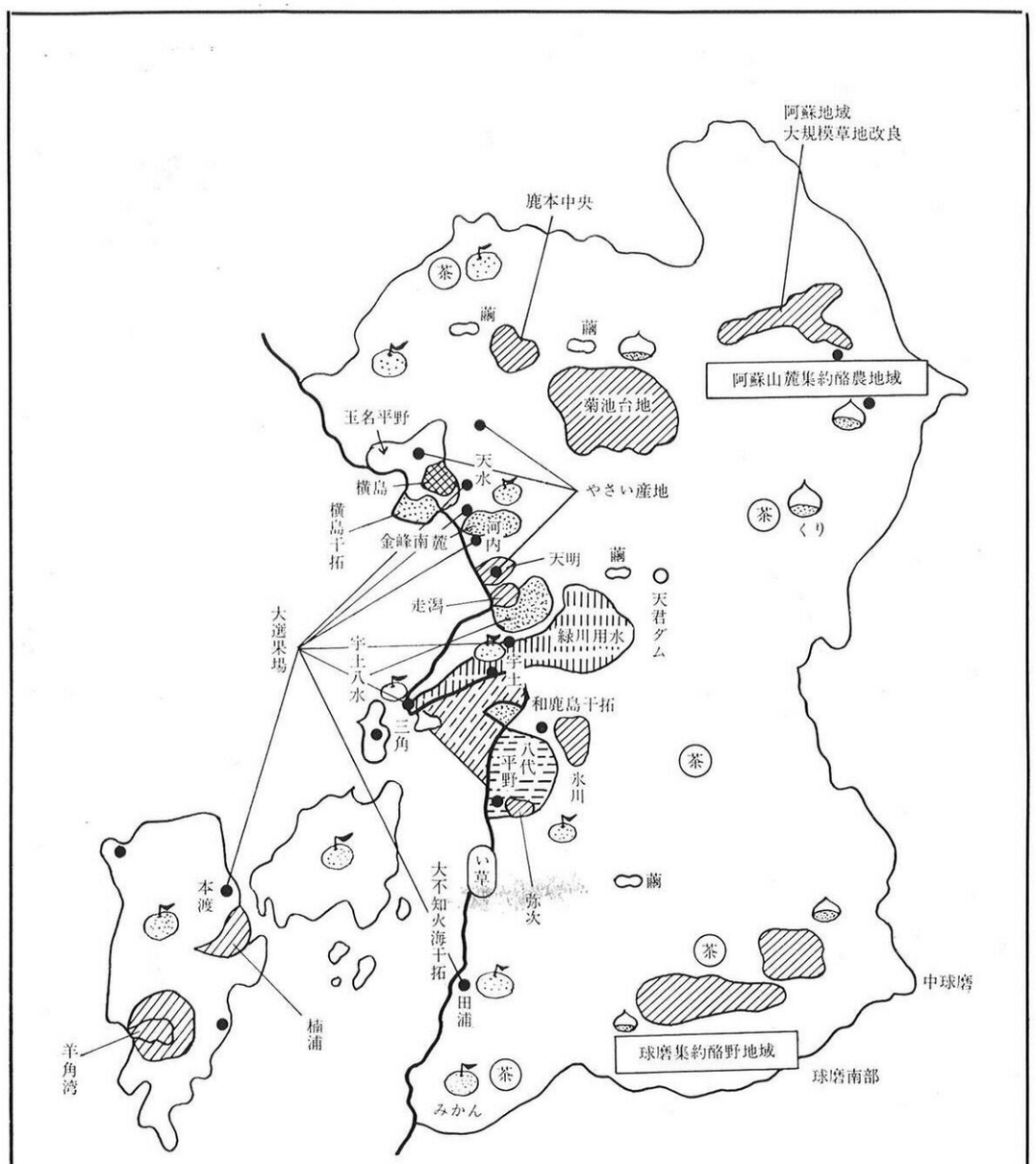
郷土玩具は、その土地に生まれ、その土地の風俗・信仰・生活様式などのあらゆる環境を反映して個性づけられていると思う。戦時中から戦後にかけて、一時は殆んど製作中止されていたものが、このごろの民芸品ブームや観光の発達で、だんだんと復活し、また愛好者もかなり多くなって、一般の人々の生活にも溶け込んできつゝあるのはうれしいことである。

熊本県は、昔から郷土玩具の宝庫といわれていたが、今では消滅してしまったものがかなりあるようだ。それでも多くの種類が残っていて、人々を楽しませてくれる。例えば、人吉の「キジ車」「香箱」、日奈久の「板角力」「おきん女」山鹿の「燈籠」、熊本の「お化け金太」「彦一ごま」「ぼした人形」、玉名の木の葉猿」、宇土の「張子」、天草の「うそ」など、数多くの伝統的なものが揃っているが、このなかで余り知られていないものに、日奈久の「おきん女」がある。桐の丸木をあらく削った胴体に、ヨダレカケつけ、胸に花模様を彩り、手足は赤い布で胴体に取付けて、純朴で可憐な田舎の少女のおもむきを表わしていて、全く素朴な感じがする。また、同じ日奈久の「板角力」は、荒削りの板を切抜いて、墨で顔とまげを書き、それぞれ赤と青のフンドシをつけ、共通の手と各々の脚を自由に動くようにつけてあり、何代もの昔から、子供達の遊び友達としてうけ継がれてきている。人吉の「てまり」も珍品の一つだ。草木染をした、数種の糸で幾何模様を画きながらまきつけた、渋味のある手まりであるが、よその観光地で見られるような、色彩のはなやかなものとは違い、草木染めの良さがしみじみ感じられる。鹿児島の信仰玩具「化粧箱」と並び賞されている人吉の「香箱」は、平家の落武者が手すさびに作ったといわれているが、杉箱に椿の模様を描いた色紙を貼ってあり、黒くふちどってあるのが特徴で、そのフタを開けると、何となく正調「五ツ木の子守唄」が聞えてくるような気がする。東北地方にも郷土玩具は多いが、その代表的なものは「こけし」であろう。外形と描彩の模様によって、福島の土湯系、宮城の鳴子系、遠刈田系などと、八種位いの系統があるようだが、どの系統でも細い目、半月の眉におちょぼ口の表情は共通で面白い。この「こけし」が東北の代表であるなら南九州の代表は「キジ車」であろうか、熊本の「キジ車」の他に、宮崎には「うずら車」、鹿児島の「たい車」などが有名であるが、いずれも、丸太の両端を手斧で斜めに切り落し、赤黄黒などで彩色し、単純なだけに素朴で古典的な香りと親しみが感じられる。郷土玩具には動くものが少ないが、動く玩具の代されて表として、子供達を楽しませながら継承きたものだ、と思うと懐かしくなる。熊本の逸品の一つに「木の葉猿」があるがこれは手ひねりの素朴な素焼きで若干の彩色をほどこし、夫婦和合、子孫繁栄のお守りとされており、これもまた他県には例をみない傑作で仲々面白い。昭和三七年の年賀切手の図案に採用されたのは島根の「出雲張子虎」だったと思うが、張子虎は全国各地で数が多く、それぞれの表情が違っていて大変面白いが、「金沢の張子虎」はヒゲがなく猫を連想させるし、「名古屋の張子虎」は仲々立派である。また「宇土の張子虎」は清正公さんの本場だけあって、ヒゲもヒンとして迫力が感じられ良いと思う。

どこの郷土玩具も、構想は不変であるが技法や体形は、時の流れと共に変化するものだといわれている。数年前に高野山へゆく機会があったとき、弘法大師にゆかりのある「導き犬」を手に入れようと考え、土産店を探し廻ったが、最近の観光客むきの新しいデザインに変ってしまって古いものが全然なく、あきらめていたところ、ある店のおばあさんが倉の中から数十年前の「導き犬」を探しだして旅館まで届けてくれた時は、有難く実に嬉しかったのを憶えている。今でも時折り郷土玩具を求めて、土産屋をのぞくことがあるが、観光客向きの「ところ変って、品変らず」のものばかりでがっかりさせられる。

熊本には古い伝統をもった玩具が数多くかくれているはずだ。製作の後継者がいなくなり、製作が中止されているものも多いと聞いている。昔から有名だった「天草土人形」「海女人形」「弾き猿」「五人あねさま」「板馬」「一間羽子板」などがかくれており、何とか復活させて熊本を郷土玩具の宝庫にしたいものである。

（しらいしまさお・県農政部長）



県計画目標の

昭和45年には

□自立経営農家数	5万戸	
□農業生産額	924億円	
□土地生産性	対37年比	147%の伸び
□労働生産性	〃	184% 〃